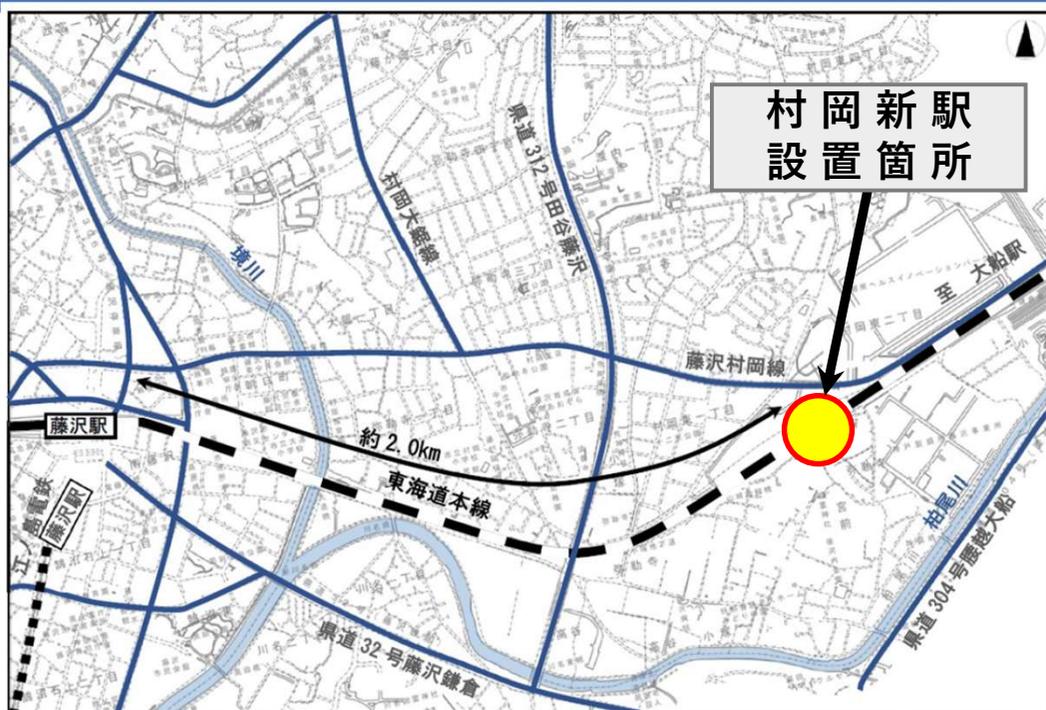


## 議題 2 村岡新駅周辺地区の交通施策について



村岡新駅位置図



イメージパース  
(新駅南側からの様子)

JR東日本提供

- 基本方針 1 健康・幸福につながる外出を促進する  
 基本方針 3 まちの賑わいを支える  
 基本方針 5 安心して暮らす

- 基本方針 2 日々の移動を支える  
 基本方針 4 環境に負荷をかけない

			基本方針 1	基本方針 2	基本方針 3	基本方針 4	基本方針 5
施設整備	新駅整備事業 <b>1</b>	新駅の整備		○			
		新駅南北自由通路の整備		○			○
	土地区画整理事業 <b>2</b>	駅前広場の整備		○	○		○
		新駅周辺の交差点改良		○			○
	道路整備事業 <b>3</b>	村岡新駅南口通り線の整備	○		○		○
		藤沢村岡線の整備			○		○
		自転車ネットワーク路線の整備	○				○
その他	駐輪場の整備	○					
交通関連	<b>4</b>	バス路線の再編		○			
		新たな交通の導入	○				
		シェアサイクルの導入	○				
ソフト施策		MMの実施		○		○	
		公共交通利用ポイントの導入		○			
		健康増進活動の促進	○				



取組方針2-1 日常生活を支える公共交通網の維持・強化

取組方針2-2 日常生活を支える道路環境の改善



イメージパース（新駅南側からの様子）

JR東日本提供

○事業主体

新駅：神奈川県、藤沢市、  
鎌倉市、東日本旅客  
鉄道株式会社

自由通路：藤沢市

○施行者

東日本旅客鉄道株式会社

○開業予定

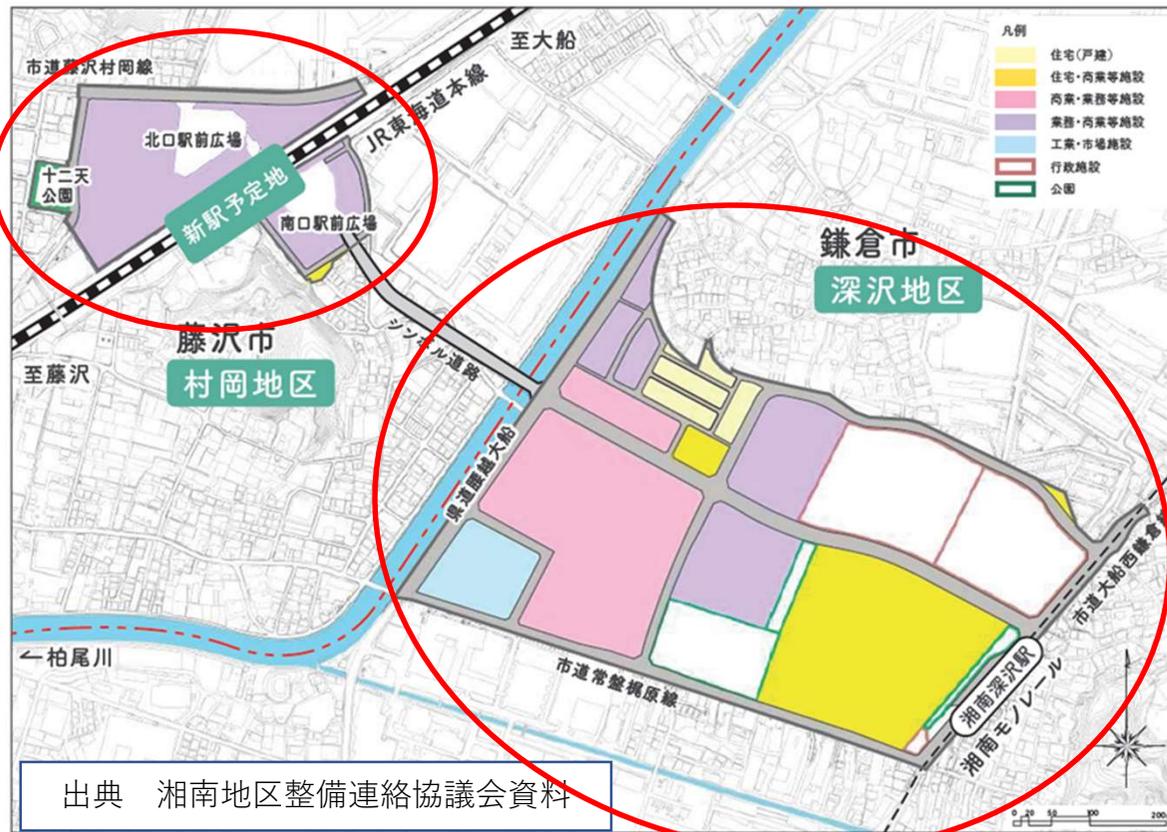
令和14年頃

令和6年10月から工事に着手しました。

動画：<https://www.youtube.com/watch?v=kFbB8xhJL8k>



- 取組方針2-1 日常生活を支える公共交通網の維持・強化
- 取組方針3-1 都市拠点の賑わいを支える交通ネットワーク強化
- 取組方針5-1 災害に備えた交通基盤の整備
- 取組方針5-2 安全に移動できる交通環境の形成



出典 湘南地区整備連絡協議会資料

まちづくりのイメージ図

### ○施行者

独立行政法人都市再生機構

### ○地区面積

藤沢市村岡地区 約 7.3ha

鎌倉市深沢地区 約31.1ha

### ○事業計画認可

令和5年10月

### ○事業期間

令和5年度～令和20年度  
(清算期間を含む)

令和8年2月から村岡地区の工事に着手する予定です。



- 取組方針2-2 日常生活を支える道路環境の改善
- 取組方針3-1 都市拠点の賑わいを支える交通ネットワーク強化
- 取組方針5-1 災害に備えた交通基盤の整備
- 取組方針5-2 安全に移動できる交通環境の形成



村岡新駅南口通り線（橋梁部以外）

○施 行 者 藤沢市

（北側の一部はUR都市機構）

○延 長 約270m

○事業認可 令和5年10月

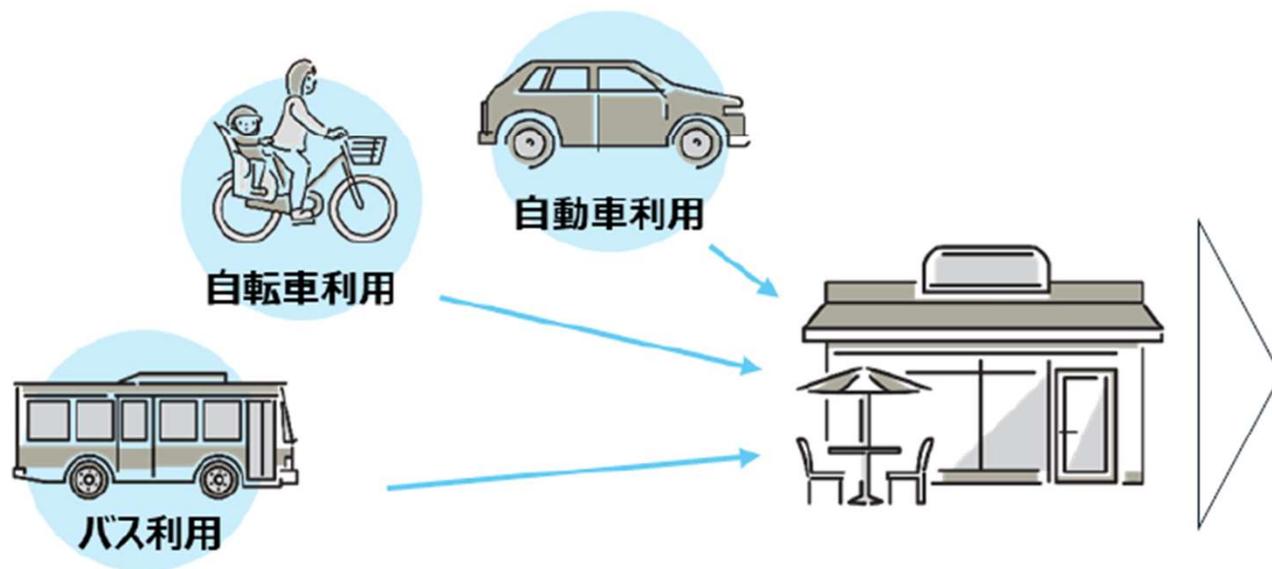
○事業期間 令和5年度～令和13年度

令和7年9月から工事に着手しました。



取組方針1-1 余暇活動・社会参加を促進する交通体系の充実・高度化

## 村岡地区が目指すまち（自家用車に依拠しないまちづくり）



誰もが外出における制約がなく、自由に移動ができる社会

### 社会像を実現するための 将来交通環境の整備

新駅に接続する  
公共交通ネットワーク  
の構築



日常移動における路線  
バス以外の公共交通手段  
の提供



短距離の自動車移動  
を抑制するシェアモビ  
リティの導入



### ■村岡地区のシェアサイクル社会実験の目的

- ・自家用車に頼りすぎず、バスや自転車などを組み合わせて便利に移動できるまちを目指し、その第一歩として既に提供されているサービスであるシェアサイクルを活用します。
- ・将来の新駅開業に向けて、自家用車以外の移動手段を使いやすくする取組を広めていきます。



### 湘南地域シェアサイクル広域周遊観光実証実験事業

- 目的：湘南地域の観光地としての魅力を高める
- 実施期間：令和元年8月30日から令和8年3月31日まで  
（いずれからも事業終了の申出がない場合は1年間の自動更新）
- 実施主体：湘南地域自転車観光推進協議会  
⇒神奈川県、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町、大磯町、二宮町及び  
県・当該市町の各観光協会（鎌倉市を除く。）により構成された組織
- 協働事業者：OpenStreet株式会社、江ノ島電鉄株式会社

### 村岡地区のシェアサイクル社会実験（実施主体：藤沢市）

- 目的：自家用車に頼りすぎず、バスや自転車などを組み合わせて便利に移動  
できるまちの推進
- 実施期間：令和7年11月1日から令和7年11月30日まで
- 協力事業者：OpenStreet株式会社、江ノ島電鉄株式会社

## 実験1 短距離自動車交通の代替に向けたシェアサイクル利便性の向上（令和7年11月1～31日）

協力 OpenStreet株式会社、江ノ島電鉄株式会社

目的 シェアサイクルを身近に利用できる環境を形成し、短距離自動車交通の代替に向けたシェアモビリティの利用促進を図る。

- 概要
- ・ 5分以内にサイクルポートへアクセスできることを目標に12箇所のポートを新設（別に社会実験とは関係なく設置されたポート2箇所あり）
  - ・ 市役所敷地内のラック数を既存の9台から17台に増設
  - ・ 社会実験終了後、アンケートを実施（モニター、アプリ利用者、市LINE登録者）

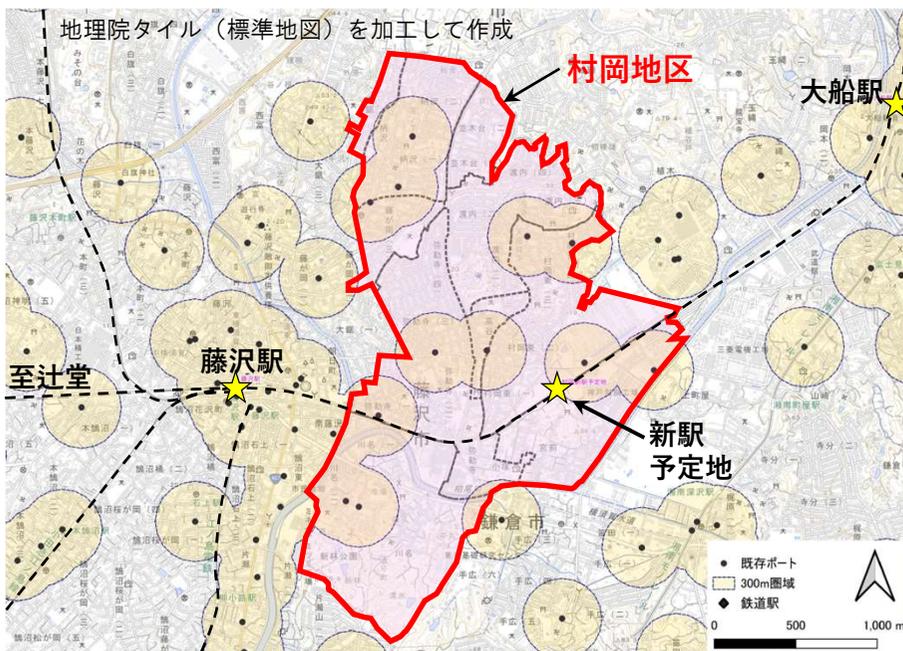


図 実験前サイクルポート位置図  
(300m<sup>(※)</sup>圏域：面積割合39%)

(※)  $5 \text{分} \times 80 \text{m/min}$  (歩行速度)  $\div 1.4$  (迂回率) = 286m → 300m

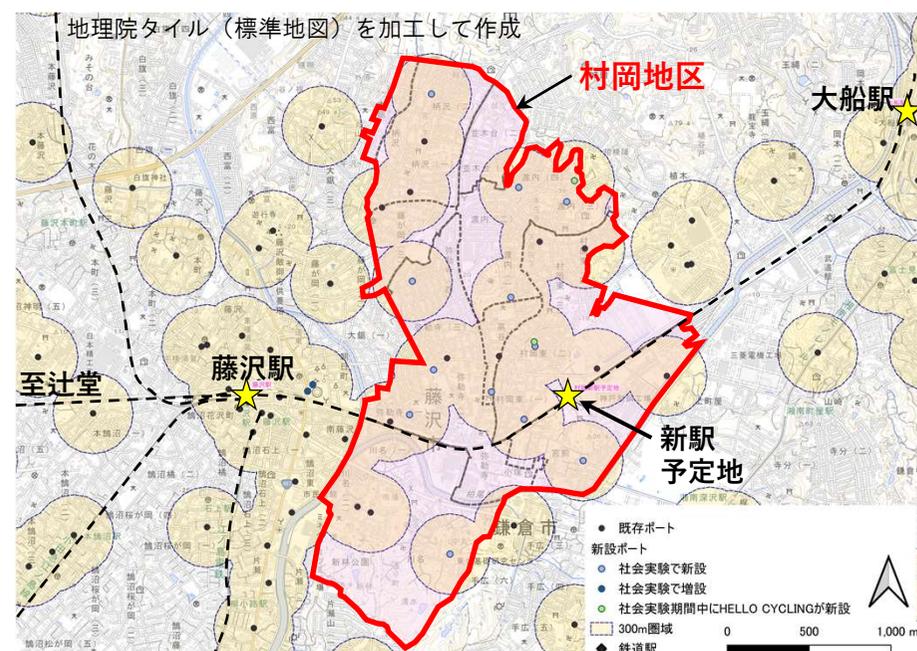


図 実験後サイクルポート位置図  
(300m圏域：面積割合68%)



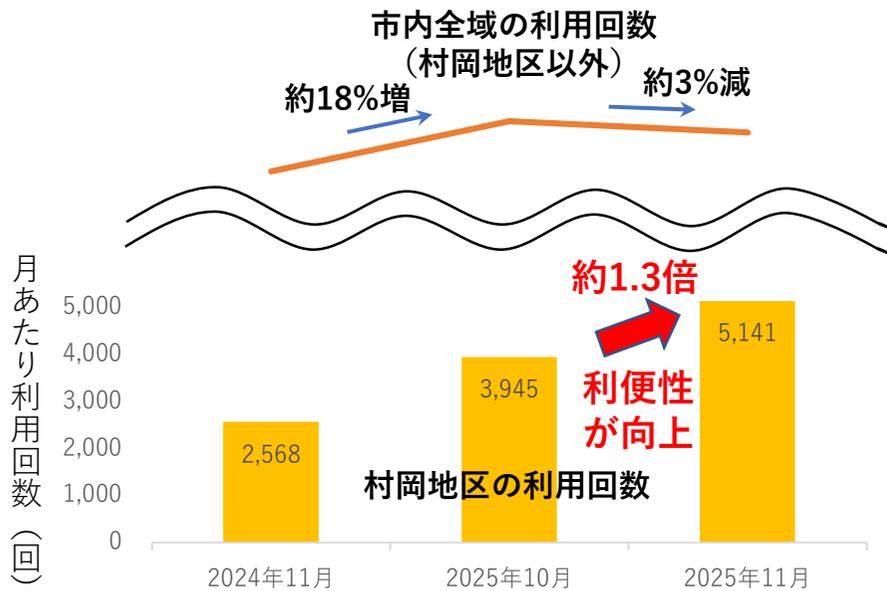


図 シェアサイクル利用回数の推移

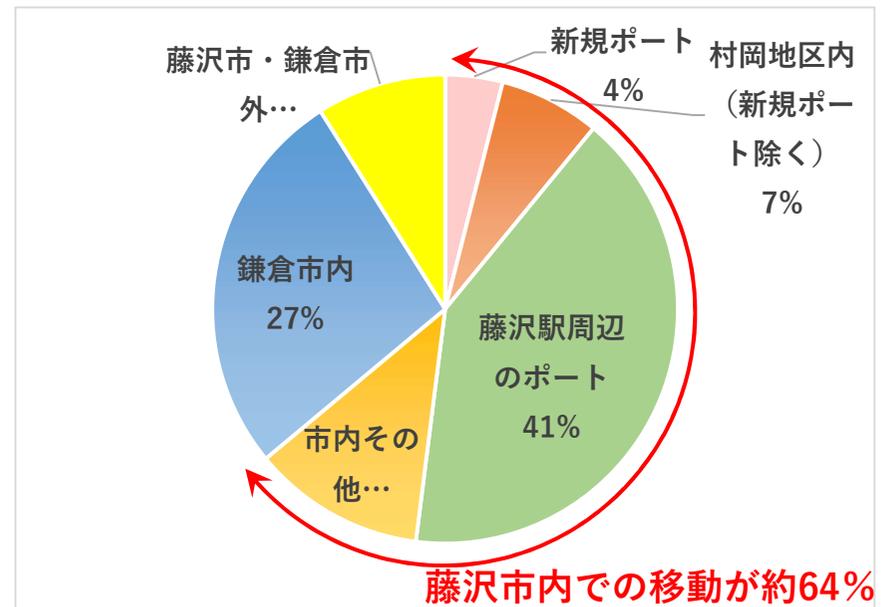


図 新設ポートを起点・終点とする主な移動先

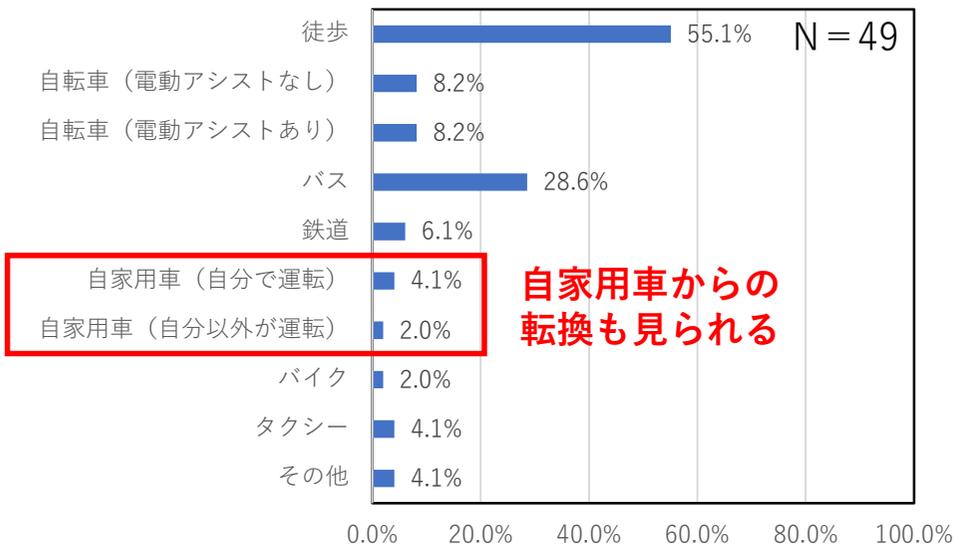


図 シェアサイクルの利用転換元  
(モニターへのアンケート結果)

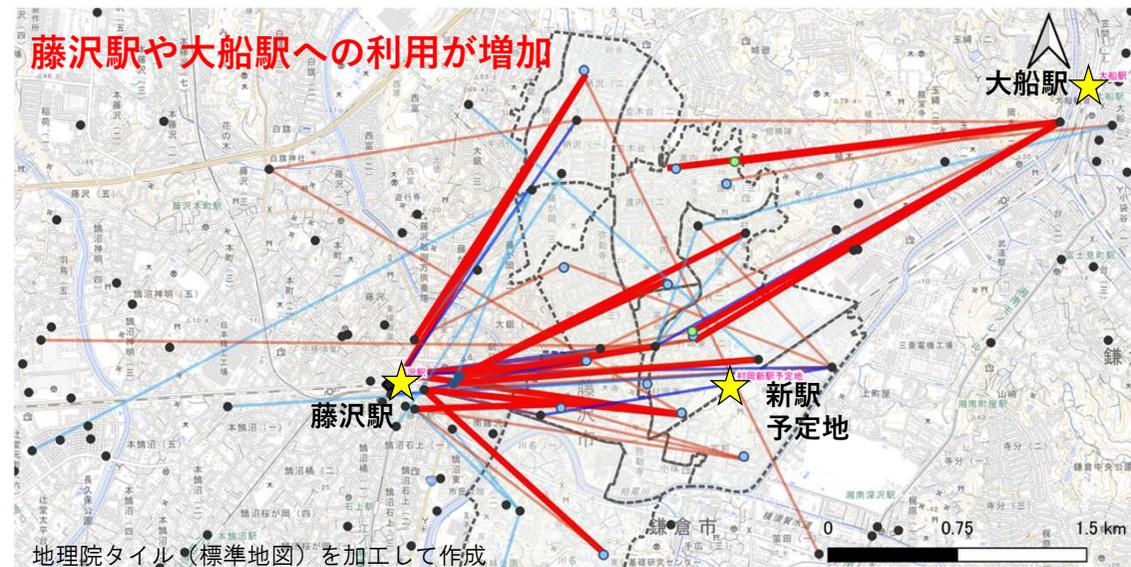


図 村岡地区で貸出された利用ODの増減  
(2025年10月と11月の比較)



## 実験2 バスとシェアサイクルの連携施策の実施（令和7年11月1～31日）

協力 江ノ島電鉄株式会社、OpenStreet株式会社

目的 バスとシェアサイクルをそれぞれ利用した場合の藤沢駅までの到着予測時間をリアルタイムでスマホから閲覧できるようにし、藤沢駅周辺へのアクセス利便性向上を図る。

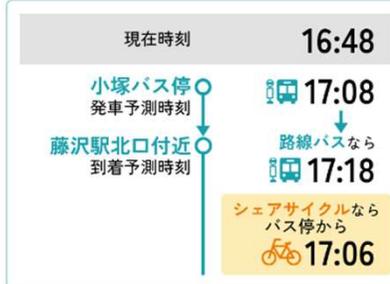
概要

- 道路混雑により定時性の確保が困難な路線バスのバス停2箇所において、バスロケーションシステムの情報から得た藤沢駅までの到着予測時間と周囲のシェアサイクルを利用した場合の到着予測時間を提供し、利用したい交通を選択できるようにする。
- 社会実験終了後にアンケートを実施

### スマホ画面

#### 藤沢市シェアサイクル社会実験

藤沢駅までの到着予測時刻をお知らせします！



#### 周辺のシェアサイクルポートマップ



#### 借りる

- 1 Casa Blu 藤沢高谷  
貸出不可 0 台  
シェアサイクルを予約
- 2 小塚会館  
貸出可能 2 台  
シェアサイクルを予約

#### 返す

- 藤沢市庁舎  
駐輪可能 4 台
- 藤沢市役所本庁舎駐輪場（北側）横  
駐輪可能 2 台
- 藤沢駅北口  
駐輪可能 4 台

#### バスロケ情報の取得



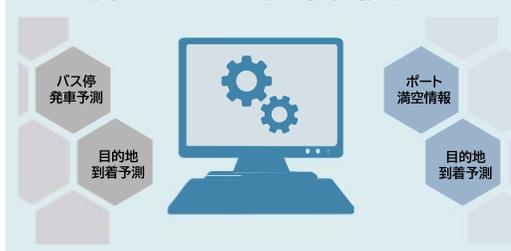
#### 江ノ電バスナビ

#### 借りる/返却のポートと車両の取得（ハローサイクリング）



#### GBFS

#### 混雑状況からバスの遅れ時刻を推定



スマホ画面  
に表示



図 位置図

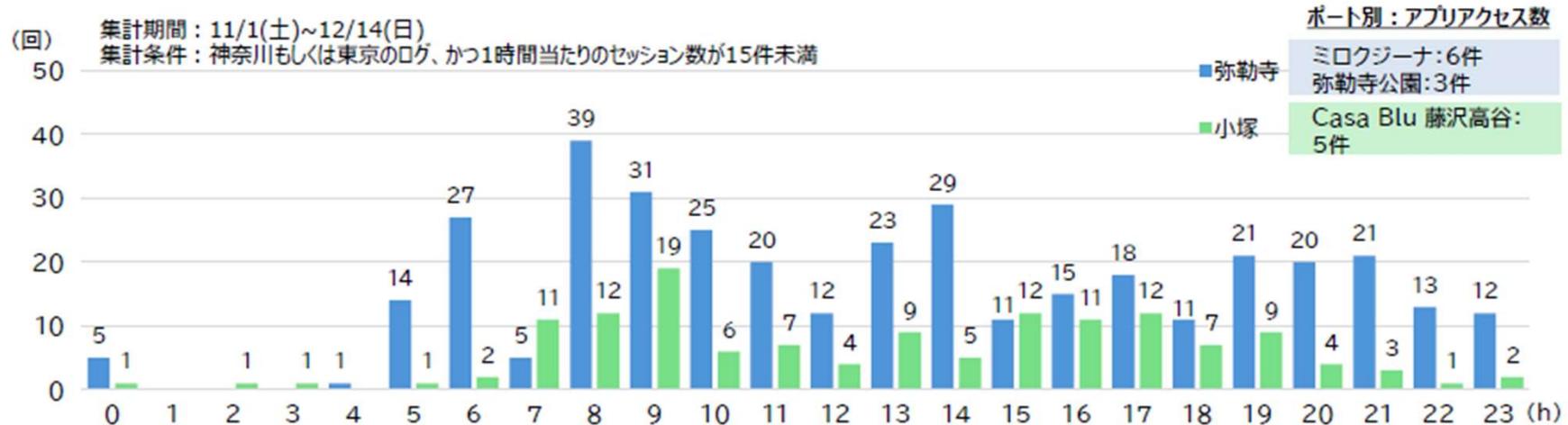


図 時間帯とwebアクセス数

弥勒寺バス停、小塚バス停ともにwebへのアクセスが見られ、シェアサイクル予約アプリへの移行を14件確認した。



藤沢駅へのアクセス利便性の向上に寄与



## 実験3 外出促進・公共交通利用啓発を目指したバス待ち空間等の整備（令和7年11月のうち4回）

- 協力 ①商業施設（ミロクジーナ）：湘南村岡不動産(株)、(株)サンオータス  
キッチンカー…スパイシーキナー-Onion、ALOHANA  
②村岡市民センター：江ノ島電鉄(株)、(株)サンオータス

- 目的
- ・バス待ち空間等を整備し、外出促進及び公共交通の利用啓発を促す。
  - ・外出促進・公共交通利用啓発を目的とした小型モビリティ体験会の実施

- 概要
- ・バス待ち空間等への交通に関する情報提供の設置
  - ・小型モビリティ体験会を商業施設（3回）及び市民センター（1回）で実施



図 位置図



写真 商業施設の体験会の様



写真 村岡市民センター体験会

利用促進クーポン



電動バイク



電動キックボード



電動車いす

## 情報提供パネルの内容

- 体験会会場にシェアサイクルの仕組み、具体的な利用場面、利用方法を示して外出を促す情報提供パネルを設置した。

### シェアサイクルのしくみとは？

シェアサイクルは無料の会員登録でどこでも予約・返却できます

**01** アプリで簡単会員登録  
会員登録は無料です。登録後すぐにご利用いただけます。アプリで予約から返却、決済まで簡単に行えます。

**02** どこでも借りられて好きな場所に返却  
ステーションは各地にあります。どこでも借りられて、借りた場所だけでなく好きな場所に返却できます。

藤沢駅や市役所周辺でも  
湘南アイパーク周辺でも  
藤沢駅  
村岡新駅予定地  
ミロクシーナなどの商業施設周辺でも  
サイクルステーション

※ヘルメットはご自身でご用意ください

### シェアサイクルを使うシーンは？

**1 60代 (元気な高齢者)**  
普通自転車 → シェアサイクル (電動)

普通自転車に乗っているけど、最近、坂道がしんどい…  
① 天気がいい日は近所の公園まで出かけたい。  
② そんなとき、近所にシェアサイクルのポートができているのを見かける。  
③ シェアサイクルは電動か、それなら登れるかも!!  
④ 坂道でも電動アシストでスイスイ  
⑤ 試しに乗ってみたら、思ったより軽くて怖くない。気がついたら、友だちと一緒にちよっと遠出することも増えてきた。「また明日も出かけよう」そんな気分になる。

**2 30代 (買い物)**  
徒歩 → シェアサイクル

予定外に買いすぎてしまった。手がちぎれそう…  
① 今日のは駅前のスーパーまで買い物にきました。ただ、ちよっと買いすぎてしまった…  
② ポートの方を見ると、ちよっと電動シェアサイクルが1台空いている。アプリで簡単に借りられるみたいだ!  
③ 電動自転車は坂道もラクで、家に着いたときにはくったりじゃなく、ちよっといい気分。これならまた使いたい。  
④ 電動って楽だなあ 坂道も快適だよ!  
⑤ バスは15分後か…、よい、使ってみよう! 前カゴに荷物を詰めて出発!!

※ヘルメットはご自身でご用意ください

### シェアサイクルを使うシーンは？

**3 10代 (高校生)**  
車での送迎 → シェアサイクル

① いつもは親に駅まで迎えに来てもらっているけど、今日は仕事が遅くなるから無理だって言われた。バスはもう行っちゃったし…  
② バスの時刻や送迎を気にせず、帰宅できる!  
③ バスに乗り遅れた! 汗 今日はお迎えは難しいって言われたし…  
④ 「え、意外と簡単かも」家までの道を風を切って帰るのがちよっと楽しくて、思わず友達にも勧めたくなった。  
⑤ ふと、近くのポートで「シェアサイクル使えます」という看板が目に入る。アプリを入れて、初めての利用。  
⑥ 16歳から利用できるんだ! しかもバーコード決済も使える!!

**4 40代 (会社員)**  
自分の自転車 → シェアサイクル

① いつもは駅まで自分の自転車を利用しているが、今朝は雨が降っていたのでバス通勤にした。  
② 駅前のポートを見たら、電動シェアサイクルが空いている。途中のスーパーにちよっと立ち寄りつつ、駅から家まで快適に移動。「今日は自転車、明日はバスで」天気や混雑に合わせて移動手段を選べるようになったのが、想像以上に快適。  
③ 途中で買い物もしようかしら♪  
④ 今朝は雨が降っていたのでバス通勤です。  
⑤ 帰宅のバスはいつも混んでいるのよねえ…  
⑥ 帰りは晴れてバス停も大行列。

※ヘルメットはご自身でご用意ください

図 情報提供パネルの内容 (一部)



## 小型モビリティ体験会の来場者数

表 モビリティ体験会参加者の属性

	11月1日,8日,16日 商業施設合計		11月9日 村岡市民センター		参加者計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
来場者数計	38	23	18	34	56	57
高齢者	2	5	8	12	10	17
大人	26	18	7	16	33	34
子供	10	0	3	6	13	6

- ・「町内会の回覧」、「藤沢市公式LINEからのプッシュ通知」により小型モビリティ体験会の案内を行った結果、113名に興味を持って参加いただいた。
- ・モビリティ体験会への参加者の属性は性別、年代にばらつきがあり、様々な人々が日々の移動手段に興味を持っていることがわかった。
- ・モビリティの体験後に今後の地域の交通環境についてヒアリングを実施した結果、手軽に移動ができたり、子どもや高齢者なども一緒に利用できる移動手段の普及を期待する意見を聞いた。



## 社会実験の結果のまとめ

### 実験1 短距離自動車交通の代替に向けたシェアサイクル利便性の向上

- ・シェアサイクルを身近に利用できる環境を形成した。
- ・短距離自動車輸送の代替としてシェアサイクルが使用されたことを確認した。

### 実験2 バスとシェアサイクルの連携施策の実施

- ・シェアサイクルとバスの連携情報の提供が、藤沢駅へのアクセス利便性の向上に寄与することを確認した。

### 実験3 外出促進・公共交通利用啓発を目指したバス待ち空間等の整備

- ・外出促進や公共交通利用啓発を目指し、バス停近くの商業施設などで小型モビリティ体験会を実施した結果、113人に参加をいただき、様々な方が日々の移動手段に興味を持っていることがわかった。

